

記憶と文字の特徴について

保健班：小林香穂 山本莉音

1. はじめに

日常生活で記憶しやすいと感じる文章となかなか覚えづらいと感じる文章がある中で、その違いが文字にあるのか脳にあるのか疑問に思い、文字に焦点を当てたときどのような文字の形、色、大きさ、背景が人の短期記憶にどう影響するのか調べることにした。

そしてこの実験から将来スライドなどを使ったプレゼンテーションなどをする際にどのような文字を使えば自分たちの言いたいことが相手に伝わりやすいのかを考察した。

2. 実験方法

(実験1)

被験者に一単語が書いてあるスライドを各2秒ずつ見てもらい、スライドショーが終わり次第覚えているものを40秒以内で白紙に書いてもらった。5クラス計200人を対象に行い、以下の条件を変えて比較した。尚、被験者には以下の条件を変える旨は伝えず実験を行った。

- ① 文字の大きさ
- ② 文字の色
- ③ 文字の形

(実験2)

アルファベット、ひらがなが各一文字ずつ書いてあるスライドを(実験1)と同様の方法で20人を対象に行い、以下の条件で比較した。

- ① 文字はすべて赤色教科書体とした。
- ② 背景の色は12色相環の赤色以外の11色とした。

3. 仮説

(実験1)

清水・吉沢(1982)は青色の文字と記憶の関係を定義しており、また、人にインパクトを与える大きい文字、ゴシックUB体がほかの条件に比べてよく記憶されているのではないかと考察する。

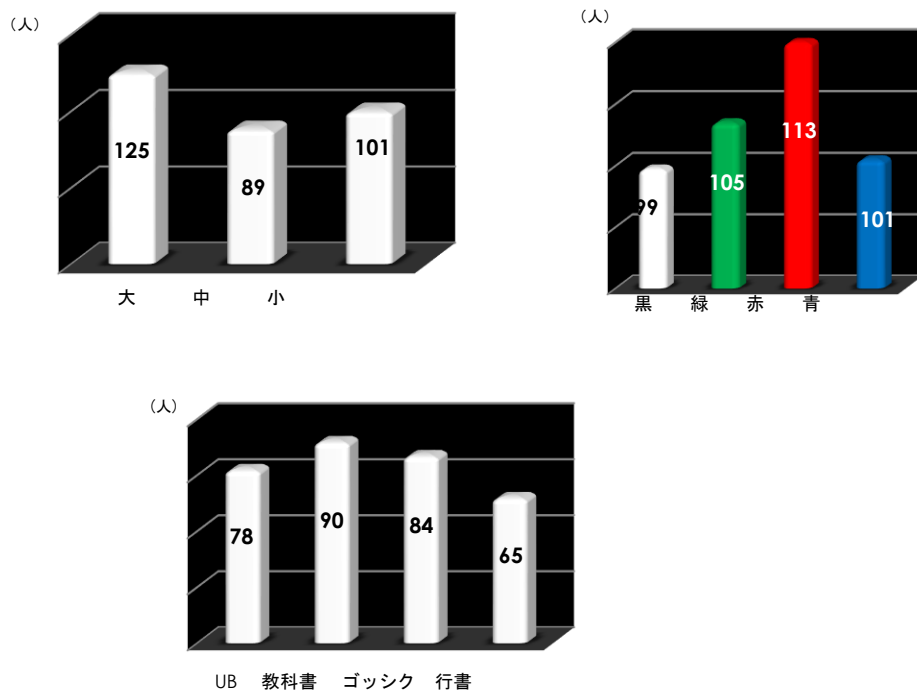
(実験2)

色相環で見たときに赤色と対局である青緑色が背景の時、赤色が一番強調され記憶されるのではないかと考察する。

4. 結果

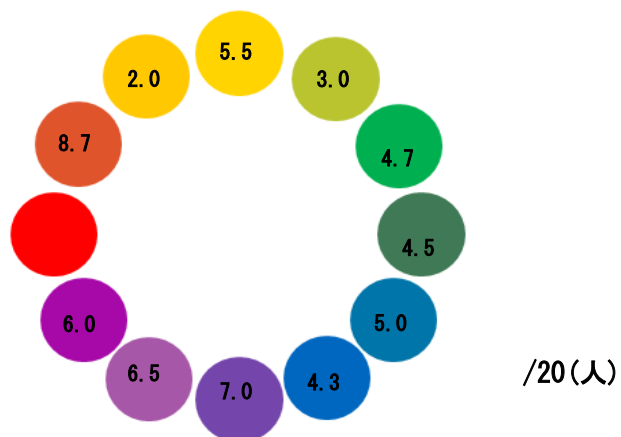
(実験1)

大きさで変化はあまり見られず、教科書体の赤い文字が一番記憶されていた。



(実験2)

赤色に近い背景のほうが記憶されていた。



5. 考察

(実験1)

- ・大きい文字が記憶されやすい理由について小さい文字よりも大きい文字のほうがインパクトが強いため覚えられやすいと考えられる。
- ・赤い文字が記憶されやすい理由について、学生は授業を受けるときに重要な単語を赤色やオレンジ色で書いていることが多く、「記憶しなければいけない文字

＝赤色」のようにほかの色に比べて意識が集まり1番記憶されたのではないかと考えられる。

- ・教科書体が記憶されやすい理由について学生は教科書を読んで勉強するため、よく見かける教科書体が1番記憶されたと考えられる。

(実験2)

赤色に似た色の文字のほうが背景と同化し、よく目を凝らして見たため、よく記憶されたのではないかと考えられる。

6. 参考文献

「眼球運動解析による可読性評価：文字色と背景色の組み合わせによる比較」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbfsa/11/1/11_KJ00005647932/_pdf